

上越地域の医療の現状と課題で懇談 日本共産党の県議・上越市議が県立中央病院訪問

8月19日、日本共産党の遠藤玲子県議が新潟県立中央病院（長谷川正樹病院長）を視察するというので、上越市議団のメンバーも同行させてもらいました。

長谷川病院長からは、救急医療や感染症医療の現状と課題、上越医療圏のなかでの中央病院の役割、他医療機関との連携などについて詳しく教えていただきました。

現在の県立中央病院は平成9年に場所を移して建築されましたが、当時、医師は60人から70人ほどだったとのこと。それがいまは100人、研修医を加えると120人ほどになっているそうです。しかし、昔に比べて仕事が増えている、特に手間のかかる治療が増えている

えているといえます。

救急車は年間4000台が中央病院へ来ていて、上越地域全体の6割を占めているとのことでした。救急医は2人しかおらず、内科、外科などの当直医が対応していて、それらの医師は翌日には通常通り勤務しているそうです。この1年、救急はたいへんだったと言われました。

新型コロナウイルス関連の話では、これまで同病院に116人（19日現在）が入院されたそうです。「昨年5月以降、1病棟をコロナ対応にした。病床は54あるが、実際は23か24しか使えない。今、新潟県内で陽性者が増えるなかで、全県の医療調整本部の要請に基づき、上越地域圏外の患者も受け入れている」ということでした。

長谷川病院長の言葉で特に印象に残ったのは、上越地域の課題について問われた時の言葉です。病院長は「病院間で和気あいあいやっている。いく



©H0H 2021.8.19



©H0H 2021.8.19

ら人口減が来るといっても、医師の数が圧倒的に少ない。若い医師を連れてくるには、魅力的な病院にしなければならぬ。術室を拡げ、例



【クサギ】再掲。シソ科の落葉小高木。漢字で書くと「臭木」です。日当たりのいいところにあります。葉に触ると異様な臭いがします。花期は7月～9月で、白い花を咲かせます。こちらはいい匂いを発します。花言葉は「運命」「治癒」。写真は8月22日、吉川区代石にて撮影。

ば、血管造影しながら手術できる設備が欲しい」などのべておられました。

今回の訪問で、上越地域の各病院が頑張っていることがよくわかりました。同時に医師確保や医療設備の充実などの課題も知ることが出来ました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

市民プラザのエスカレーター改修へ

6月議会で私がとりあげた市民プラザのエスカレーターについて、9月議



会に提案される一般会計補正予算で改修費が計上されました。工事の全体事業費は、2950万円。上りも下りも改修されます。工期は本年11月から来年5月までの予定で、事業は年度をまたぎます。

北川教授がオンライン講演

市議会議員勉強会で早稲田大学の北川正恭名誉教授が、議会のあり方について講演してくださいました。

同教授は、「議会が強くなるためには通年議会が重要である。議会は執行部と対等だという認識がないと自己責任、自己決定は生まれないし、二元代表制にならない。議会事務局とコラボし、チーム議会で執行部と対峙してほしい。議会は行政の監視機能だけではなく、市民の意見を集約し政策提案することが大事だ。新型コロナのなかでどうするか。議員を本会議場に集めるというやりかたは変えなければならない。オンライン議会が重要となる。パンデミックの中で、執行部に迷惑がかかるなどの理由で一般質問の質問時間を制限したり、質問をやめたりしているところがあるが、こうした行政に対する『うるわしい配慮』は議会の責任放棄そのものだ。深い議論で市民の意見をつかみ、徹底的に前向きな議論をし、議会の地位を確立してほしい」と訴えました。

9月議会を前にしてとてもいい勉強になりました。



©H0H 2021.8.20

はしづめ法一の活動レポート

No.2025 2021.8.29
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

 橋爪法一 検索

春よ来い

第六七二回 ひとりじめボンボン

スイカに「ひとりじめボンボン」という銘柄があったんですね。今年の夏まで知りませんでした。

知ったのはお盆が終わった最初の水曜日です。長女が「ひとりじめボンボン、食べようか」と言ったので「いいよ」と答えたのですが、それがスイカの名前だと聞いてびっくりしました。このスイカはお盆の期間中、仏壇にあげてあった小さな黒玉スイカだったのです。

スイカは台所で半分に切り、それをさらに三等分したものを皿の上のせて、長女が居間のテーブルまで運んでくれました。そして言ったのです、「あっさりしているけど甘くて、美味しいんだよ」と。きつとどこかで「ひとりじめボンボン」を食べたことがあって、その味が忘れられなかったのでしょう。

この日、居間でスイカを食べたのは私と母と長女の三人でした。小玉スイカというと、私は黄色のスイカの濃縮された甘い味を忘れることができませんが、この「ひとりじめボンボン」も黄色いスイカに負けないくらいの味でした。

食べていたとき、注目したのは母の食べ方です。居間のテーブルに運ばれてきたスイカをたぐり寄せると、母はスプーンでスイカの実をゆっくりに、口に運んでいました。口の中に入れてから何度か噛み、目をつむってうなずくようにして最後はごくりとやります。母は胃を痛めているので、ゆっくりに食べているのは、最初はそのせいかと思っていました。でも、そうではありませんでした。母は何度も「うんめーがどー」と言っていました。本当に美味しいから味わって食べていたのです。

これまで、羊羹(ようかん)や菓子類だと少し食べて、「美味しかった。もういい」と言い、それでやめてしまう母の姿を何度か見てきました。大好きな稲荷寿司で

すら、ひとつ食べれば十分でした。スイカもそうなるかと思っていたら、そうはならず、ずっと食べ続けていました。ただ、スプーンでスイカをとりやすくしました。スプーンを使って口に運ぶことは後半になつたらやらなくなりました。小さくしたスイカをスプーンではなく、指を使って口に運ぶようになったのです。あとは同じです。ゆっくりに噛み、ごくりと飲み込んで、うなずく。このやりかたは最後まで続きました。

母のスイカの食べ方で気になったことはもう一つありました。母はゆっくりに食べてはいるものの、食べる時にスイカの汁をこぼし勝ちでした。私は、母が皿を斜めにしながらこぼしそうになると、「ほら、ばちや、こぼしなななや」と声をかけました。その様子は長女も見ていて、気になったのでしよう。テーブルの板を母の方向にぐっと近づけました。それだけでは間に合わないことがわかると、今度はタオルを母の首下に巻きました。というよりも、タオルを赤ちゃんの「あてこ」(よだれかけ)のようにして置いたのです。これで母は完全に「赤ちゃん」になりました。

今回、母は皿に用意されたスイカを残らず食べました。たしかに、「ひとりじめボンボン」は美味しく、「一人で全部食べてしまいたい」という思いはわかります。でも正直言って、母が全部、食べると思いませんでした。どんなに食べても、半分以上は残っていたのです。ひよっとすると、母の食欲は以前のレベルに回復してきたのかも知れません。

母は食欲が旺盛な頃、友達に言っていました。「長生きしなきゃ、そんだけこね死んじゃええ、うんめもん食べらんねも」と。今回、「ひとりじめボンボン」を食べたことで、「もっとうんめもん食べた」と母が思ってくれば最高です。

9月1日から定例議会がはじまります

9月1日から27日までの予定で9月定例議会が行われます。直江津航路維持を目的とした佐渡汽船(株)への支援金等です。下記日程をごらんになり、ぜひ傍聴にお出かけください。

9月議会審議日程 (会議開始時間はいずれも午前10時)

日(曜日)	会議	場所	備考
9月1日(水)	本会議	議場	提案理由・総括質疑
9月2日(木)	本会議	議場	総括質疑
9月3日(金)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月6日(月)	厚生委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月7日(火)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月8日(水)	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月9日(木)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月10日(金)	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件審査
9月13日(月)	総務委員会	第一委員会室	橋爪担当
9月14日(火)	総務委員会	第一委員会室	橋爪担当
9月16日(木)	一般質問	議場	
9月17日(金)	一般質問	議場	
9月21日(火)	一般質問	議場	
9月22日(水)	一般質問	議場	
9月27日(月)	本会議	議場	議案採決等



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月18日(水)	8月25日(水)
上越南消防署	0.057	0.050
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.057	0.053
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.053	0.053
名立分遣所	0.067	0.057
高士分遣所	0.053	0.050